

愛知大学
外国人留学生入学試験
募集要項 2024



AICHI
UNIVERSITY

目次 (CONTENT)

愛知大学概要	1
1. 設立の趣旨	1
2. 入学時期	1
3. 所属校舎	1
外国人留学生推薦入学試験	2
1. 外国人留学生推薦入学試験について	2
2. 募集学部・人員	2
3. 出願資格	2
4. 入試日程	2
5. 選考会場・選考方法・配点	2
外国人留学生一般入学試験	3
1. 外国人留学生一般入学試験について	3
2. 募集学部・人員	3
3. 出願資格	3
4. 入試日程	3
5. 選考会場・選考方法・配点	4
外国人留学生渡日前入学試験	5
1. 外国人留学生渡日前入学試験について	5
2. 募集学部・人員	5
3. 出願資格	5
4. 入試日程	5
5. 選考方法・配点	5
出願手続について（全入学試験共通）	6
1. 入学検定料	6
2. 出願方法	6
3. 書類審査・受験許可書（受験票）送付	6
出願書類（全入学試験共通）	7
合格発表	11
入学手続について	11
外国人留学生のための支援制度	13
1. 入学試験スカラシップ制度	13
2. 授業料減免制度	13
3. 学習奨励制度	13
入学検定料の返還について	14
入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	15
出願書類チェックシート	18
出願書類（本学所定用紙）様式①～④	
入学検定料返還申請書	
2023年度外国人留学生入学試験結果	

外国人留学生
入学試験
受験生向けサイト



新たな感染症及び国際情勢の影響により、本募集要項に記載されている内容は変更されることがあります。
変更した場合、本学公式 HP（左 QR コード）にて発表します。

愛知大学概要

1. 設立の趣旨

本学は、教育基本法及び学校教育法に基づき、高い教養と専門的教育を施し、広く国際的視野をもって人類社会の発展に貢献しうる人材を養成することを目的としています。

2. 入学時期

毎年4月です。

3. 所属校舎

名古屋キャンパス（所在地：〒453-8777 愛知県名古屋市中村区平池町 4-60-6）

学 部	学 科	コース
法学部	法学科	司法 行政 企業 法科大学院連携
経済学部	経済学科	経済分析 政策・地域 世界経済
経営学部	経営学科	ビジネス・マネジメント 流通・マーケティング 情報システム 国際ビジネス
	会計ファイナンス学科	アカウンティング ファイナンス ビジネスデザイン
現代中国学部	現代中国学科	ビジネス 言語文化 国際関係
国際コミュニケーション学部	英語学科	Language Studies Business Education
	国際教養学科	アメリカ研究 日本・アジア研究 ヨーロッパ研究

大学院研究科	専 攻	課 程
法学研究科	公法学 私法学	博士後期課程
経済学研究科	経済学	修士課程・博士後期課程
経営学研究科	経営学	修士課程・博士後期課程
中国研究科	中国研究	修士課程・博士後期課程
国際コミュニケーション研究科	国際コミュニケーション	修士課程

豊橋キャンパス（所在地：〒441-8522 愛知県豊橋市町畑町 1-1）

学 部	学 科	コース（専攻）
文学部	人文社会学科	現代文化（東アジア文化 哲学 図書館情報学 メディア系術）
		社会学（社会学）
		欧米言語文化（現代国際英語 ドイツ語圏文化 フランス語圏文化）
	歴史地理学科	（日本史学 世界史学 地理学）
	日本語日本文学科	（日本語日本文学）
	心理学科	（心理学）
地域政策学部	地域政策学科	公共政策 経済産業 まちづくり・文化 健康・スポーツ 食農環境
短期大学部	ライフデザイン総合学科	

大学院研究科	専 攻	課 程
文学研究科	日本文化 地域社会システム 欧米文化	修士課程・博士後期課程

車道キャンパス（所在地：〒461-8641 愛知県名古屋市中村区筒井 2-10-31）

専門職大学院研究科	専 攻	課 程
法務研究科（法科大学院）	法務	専門職学位課程

外国人留学生推薦入学試験

本学の授業は主に日本語で行われるため、一定以上の日本語能力（日本語能力試験 N1 レベル相当）が必要です。

1. 外国人留学生推薦入学試験について

本学の外国人留学生推薦入学試験は、本学外国人留学生規程に基づき、国内の日本語教育施設に在籍し、2024 年 3 月末までに所定の課程を修了見込みの者を対象とした入学試験です。

2. 募集学部・人員

キャンパス	学 部	学 科	定 員
名古屋	現代中国学部	現代中国学科	10 名

注意：コースは、入学後に決定します。

3. 出願資格

次の要件をすべて満たす者。

- 1) 外国籍を有し（日本国籍との二重国籍者は含まない）、外国における学校教育の 12 年の課程を修了した者（2024 年 3 月 31 日までに修了見込みの者を含む。）もしくはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したものの又は本学が高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者。
 - 2) 入学後は、「出入国管理及び難民認定法」に定める「留学」の在留資格を取得できる者。
ただし、「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格「永住者」もしくは平和条約国籍離脱者等入管特例法に定める「特別永住者」は出願できない。
 - 3) 国内の日本語教育施設（専修学校専門課程は除く）に在籍し、2024 年 3 月 31 日までに所定の課程を修了見込みの者。（注）
 - 4) 本学への専願入学である者。
 - 5) 次のいずれかの日本語能力を有する者。ただし、いずれも 2022 年 6 月以降受験したものに限る。
 - ・独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験（日本語）」210 点以上（記述を除く）
 - ・独立行政法人国際交流基金と公益財団法人日本国際教育支援協会が主催する「日本語能力試験」N1 総合得点 90 点以上 又は N2 総合得点 100 点以上
 - 6) 所属する学校の代表者の推薦書がある者。
 - 7) 本学入学から卒業までの学費、生活費等が確実に支弁できる者。
- （注）出願資格 3）について、所定の課程を修了できない場合は、合格後であっても原則入学資格を取り消します。

4. 入試日程

出 願 期 間：2023 年 10 月 13 日（金）～ 10 月 23 日（月）【必着】〈持込不可〉

試 験 日：2023 年 11 月 11 日（土）

合格発表日：2023 年 11 月 21 日（火）

5. 選考会場・選考方法・配点

書類審査と面接の成績をもとに評価

選考会場	学 部	書類審査	面 接	合 計
名古屋	現代中国学部	（注 1）	200 点	200 点

（注 1）書類審査は合または否として判定します。

◆出願にあたってのお願い◆

出願については、推薦する日本語教育施設においてご指導のうえ、出願書類を取りまとめて提出してください。

同一学校で複数人受験する場合は、一名ずつ書類を任意の封筒に入れ、1 つにまとめたうえ、必ず

簡易書留・速達でご送付ください（宅配業者を使用しないでください）。

外国人留学生一般入学試験

本学の授業は主に日本語で行われるため、一定以上の日本語能力（日本語能力試験 N1 レベル相当）が必要です。

1. 外国人留学生一般入学試験について

本学の外国人留学生一般入学試験は、本学外国人留学生規程に基づき、本学への入学を希望する外国人留学生（入学後に「留学」の在留資格を取得できる者）を対象とした入学試験です。

2. 募集学部・人員

キャンパス	学 部	学 科	定 員
名古屋	法学部	法学科	若干名
	経済学部	経済学科	若干名
	経営学部	経営学科	若干名
		会計ファイナンス学科	若干名
	現代中国学部	現代中国学科	若干名
	国際コミュニケーション学部	英語学科	若干名
		国際教養学科	若干名
豊橋	文学部	人文社会学科	若干名
		歴史地理学科	
		日本語日本文学科	
		心理学科	
	地域政策学部	地域政策学科	若干名
	短期大学部	ライフデザイン総合学科	若干名

注意：①国際コミュニケーション学部英語学科については、本学入学時に次のいずれかの資格の取得が見込まれると判断される者であること。

TOEFL-PBT 460 点以上、TOEFL-iBT 48 点以上、TOEIC 500 点以上

②文学部は学部全体入試を実施します。本人の希望と1年次の成績により、2年次進級時に所属する学科・コース・専攻が決まります（1年次の所属は、便宜上、人文社会学科になります）。

③地域政策学部は出願時にコース（公共政策、経済産業、まちづくり・文化、健康・スポーツ、食農環境の5コースのうちいずれか）を選択してください。その他の学部のコースについては、入学後に決定します。

④短期大学部は女子に限ります。

3. 出願資格

次の要件をすべて満たす者。

- 1) 外国籍を有し（日本国籍との二重国籍者は含まない）、外国における学校教育の12年の課程を修了した者（2024年3月31日までに修了見込みの者を含む。）もしくはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したものの又は本学が高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者。
- 2) 入学後は、「出入国管理及び難民認定法」に定める「留学」の在留資格を取得できる者。
ただし、「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格「永住者」もしくは平和条約国籍離脱者等入管特例法に定める「特別永住者」は出願できない。
- 3) 2022（令和4）年度又は2023（令和5）年度に独立行政法人日本学生支援機構「日本留学試験（日本語）」を受験した者。
- 4) 本学入学から卒業までの学費、生活費等が確実に支弁できる者。

4. 入試日程

出 願 期 間：2023年11月22日（水）～11月30日（木）【必着】〈持込不可〉

試 験 日：2024年1月12日（金）

※日本国外から出願する場合も同様です。

合格発表日：2024年1月23日（火）

5. 選考会場・選考方法・配点

日本留学試験「日本語」(記述を含む)と面接の成績をもとに評価。ただし、経営学部、国際コミュニケーション学部は、面接が 60 点未満の場合、総合点に関わらず不合格とします。

選考会場	学 部	日本留学試験		面 接	合 計
		日本語 (読解、聴解・聴読解)	日本語 (記述)		
名古屋	法学部	100 点 (注 1)	50 点	100 点 (注 2)	250 点
	経済学部				
	経営学部				
	現代中国学部				
	国際コミュニケーション学部				
豊橋	文学部				
	地域政策学部				
	短期大学部				

(注 1) 400 点満点を 100 点に換算して利用します。

(注 2) 国際コミュニケーション学部英語学科は、英語の基礎学力を確認するため、面接の一部を英語で行います。

外国人留学生渡日前入学試験

本学の授業は主に日本語で行われるため、一定以上の日本語能力（日本語能力試験 N1 レベル相当）が必要となります。

1. 外国人留学生渡日前入学試験について

本学の外国人留学生渡日前入学試験は、日本国外在住者を対象とし、独立行政法人日本学生支援機構が実施している「日本留学試験」を日本国外で受験することによって、入学時まで来日することなく受験できる入学試験です。

2. 募集学部・人員

キャンパス	学 部	学 科	定 員
名古屋	現代中国学部	現代中国学科	若干名
	国際コミュニケーション学部	国際教養学科	若干名

注意：①各学部のコースについては、入学後に決定します。

②国際コミュニケーション学部については、本学入学時に次のいずれかの資格の取得が見込まれると判断される者であること。

TOEFL-PBT460 点以上、TOEFL-iBT48 点以上、TOEIC500 点以上

3. 出願資格

次の要件をすべて満たす者。

- 1) 日本国外に在住している者。
- 2) 外国籍を有し（日本国籍との二重国籍者は含まない）、外国における学校教育の 12 年の課程を修了した者（2024 年 3 月 31 日までに修了見込みの者を含む。）もしくはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの又は本学が高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者。
- 3) 入学後は、「出入国管理及び難民認定法」に定める「留学」の在留資格を取得できる者。
ただし、「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格「永住者」もしくは平和条約国籍離脱者等入管特例法に定める「特別永住者」は出願できない。
- 4) 2022（令和 4）年度又は 2023（令和 5）年度に独立行政法人日本学生支援機構「日本留学試験（日本語および総合科目）」を日本国外で受験した者。
- 5) 本学入学から卒業までの学費、生活費等が確実に支弁できる者。

4. 入試日程

出 願 期 間：2023 年 11 月 22 日（水）～ 11 月 30 日（木）【必着】

合格発表日：2024 年 1 月 23 日（火）

5. 選考方法・配点

書類審査、日本留学試験「日本語」（記述を含む）および「総合科目」の成績をもとに総合評価。

学 部	書類審査	日本留学試験			合 計
		日本語 (読解、聴解・聴読解)	日本語 (記述)	総合科目	
現代中国学部	(注 1)	400 点	50 点	200 点	650 点
国際コミュニケーション学部					
国際教養学科					

(注 1) 書類審査は合または否として判定します。

(注 2) 出願者の日本語能力に関してインターネット会議システム等を通じて確認を行う場合があります（2024 年 1 月 12 日（金）実施）。対象者については別途案内します。

出願手続について（全入学試験共通）

1. 入学検定料：35,000 円

※一旦納入された入学検定料は、返還しません。ただし、本学が定める入学検定料返還事由に該当し、所定の方法で請求、受理された場合のみ入学検定料を返還します。詳細は P. 14 を参照してください。

(1) 外国人留学生一般入学試験（国内在住者）および外国人留学生推薦入学試験

同封の振込依頼書を使用し、最寄の金融機関で振込んでください。

（注）振込手数料は本人負担となります。

(2) 外国人留学生一般入学試験（国外在住者）および外国人留学生渡日前入学試験

次の口座に、出願者本人の名義で海外送金してください。

現地振込金融機関窓口にて銀行窓口提出用書類（海外送金に関する依頼書「To Whom It May Concern:」）を提出してください。また、送金にあたって別途手数料がかかる場合は、上記金額とは別に、窓口で支払ってください。

振込先銀行・支店：MUFG BANK, LTD. NAGOYA-EKIMAE BRANCH
支店コード：221
振込先銀行住所：3-28-12 MEIEKI, NAKAMURA-KU, NAGOYA-SHI, AICHI, 450-6404 JAPAN
振込先銀行電話番号：+81-52-563-8551
S W I F T c o d e : BOTKJPJT
預金の種別：SAVINGS ACCOUNT
口座番号：0169082
口座名義：AICHI UNIVERSITY
大学住所：4-60-6 HIRAIKE-CHO, NAKAMURA-KU, NAGOYA-SHI, AICHI, 453-8777 JAPAN
大学電話番号：+81-52-564-6116
送金金額：35,000 円（円為替取扱手数料は本人負担となります）

*必ず日本円で振込んでください。

*納入後、本人保管用の振込証明書を様式㊾に貼付して提出してください。

2. 出願方法

出願書類（P. 7 参照）をすべて揃え、任意の封筒に様式㊿を貼付の上、**簡易書留・速達**で郵送してください。ただし、日本国外から出願する場合は国際スピード郵便（EMS）等、配達記録が残る国際郵便を利用してください。

※持ち込みでの出願受付はできません。

出 願 書 類 送 付 先	
愛知大学国際交流課 〒453-8777 愛知県名古屋市中村区平池町4-60-6 TEL：052-564-6116 / FAX：052-564-6216 E-mail：admission@ml.aichi-u.ac.jp	Aichi University International Exchange Office 4-60-6 Hiraie-cho, Nakamura-ku, Nagoya, Aichi 453-8777 JAPAN TEL：+81-52-564-6116 / FAX：+81-52-564-6216 E-mail：admission@ml.aichi-u.ac.jp

注意：出願期間は出願書類を準備する期間ではありません。

出願書類は出願期間前にすべて準備するようにしてください。

3. 書類審査・受験許可書（受験票）送付

出願書類に基づき、受験資格の審査を行います。審査の結果、受験資格があると認められた場合、試験日 1 週間前までに入学志願書に記入された E-mail アドレス宛に次のものを送信します。

推薦入学試験・一般入学試験：①受験許可書送付状、②受験許可書（受験票）（E-Mail に PDF を添付）

渡 日 前 入 学 試 験：受験番号（E-Mail 本文に記載）

出 願 書 類 （ 全 入 学 試 験 共 通 ）

- ①書類はすべて黒のボールペンで記入してください（鉛筆、消せるボールペンは使用不可）。
- ②訂正する際は、二重線で訂正してください（修正液、修正テープは使用不可）。
- ③書類は入学試験募集要項から切り離し、下表の順に並べて提出してください。
- ④証明書はすべて **6ヵ月以内**に発行されたものを提出してください。
- ⑤書類に不備・不足がある場合は、出願を受け付けません。
- ⑥一度提出した書類は、**一切返却しません**。
- ⑦必要に応じ、追加資料の提出を求めることがあります。
- ⑧書類に虚偽の記入や改ざんが発覚した場合は、受験資格を失い、合格後であっても入学資格を取り消します。

入試種別 提出書類			出願書類等	摘 要
推薦入学試験	外国人留学生 一般入学試験	外国人留学生 渡日前入学試験		
○	○	○	④ 愛知大学・愛知大学短期大学 部入学志願書 (本学所定用紙)	・記入例を参考に、すべて日本語で必ず出願者本人が記入すること。 ※指定の QR コードを読み取り、連絡先等の情報を入力していただき、 顔写真データをアップロードしたうえで送信してください。
○	○	○	⑤ 日本語能力認定書 (本学所定用紙)	・日本語講師等、認定書作成に適当と思われる方に記入を依頼し、 厳封 して提出すること。 <u>出願者本人が記入したものは提出不可</u> 。
○	(注) ○	—	⑥ 住民票の写し（原本） 【コピー不可】	・居住する市町村役場で6ヵ月以内に発行された「 住民票の写し 」 原本 を提出すること。在留資格、在留期間、在留期間の満了日、在留カード 番号が記載されていること。在留カードのコピーは不可。 (注) 国外在住者は提出不要。
○	○	○	⑦ パスポートのコピー (本学所定用紙に貼付)	・パスポート（氏名、パスポート番号、顔写真の掲載されているペー ジ）をコピーし、本学所定用紙に貼付し、提出すること。
○	—	—	⑧ 推薦書（本学所定用紙）	・担任日本語講師等、出願者本人を最もよく理解している方に記入を依 頼し、 厳封 して提出すること。
○	○	○	⑨ 日本語能力に関する 受験票等のコピー (本学所定用紙に貼付)	【推薦入学試験出願者】 ・2022（令和4）年度または2023（令和5）年度に受験した日本留学試験「受験票」のコピー、2022（令和4）年度または2023（令和5）年度に受験した日本語能力試験「日本語能力認定書兼可否結果通知書」のコピーのいずれか1回分を提出すること（複数回分の提出は不可）。 ※日本留学試験の受験票のコピー以外に「成績確認書」も可とする。 対象となる試験は以下の通り。 ・2022（令和4）年度第1回日本留学試験（2022年6月実施） ・2022（令和4）年度第2回日本留学試験（2022年11月実施） ・2023（令和5）年度第1回日本留学試験（2023年6月実施） ・2022年度第1回日本語能力試験（2022年7月） ・2022年度第2回日本語能力試験（2022年12月） ・2023年度第1回日本語能力試験（2023年7月） ※日本語能力試験「日本語能力認定書兼可否結果通知書」のコピーを提出いただいた方は本学担当者が関連団体へ真偽確認の依頼をします。これに同意の上、提出すること。 ※出願後の変更は不可。 【一般・渡日前入学試験出願者】 ・2022（令和4）年度又は2023（令和5）年度に受験した日本留学試験「受験票」のコピーのいずれか1回分を提出すること（複数回分の提出は不可）。 ※日本留学試験の受験票のコピー以外に「成績確認書」も可とする。

入試種別 提出書類			出願書類等	摘 要
推薦入学試験	外国人留学生 一般入学試験	外国人留学生 渡日前入学試験		
○	○	○	㊦ 日本語能力に関する 受験票等のコピー (本学所定用紙に貼付)	対象となる試験は次の通り。 ・2022 (令和 4) 年度第 1 回日本留学試験 (2022 年 6 月実施) ・2022 (令和 4) 年度第 2 回日本留学試験 (2022 年 11 月実施) ・2023 (令和 5) 年度第 1 回日本留学試験 (2023 年 6 月実施) ・2023 (令和 5) 年度第 2 回日本留学試験 (2023 年 11 月実施) ※日本語能力試験「日本語能力認定書兼可否結果通知書」のコピーの提出は不可。 ※出願後の変更は不可。
○	○	○	㊧ 検定料振込証明書 (本学所定用紙に貼付)	【日本国内在住者の場合】 ・検定料振込後、金融機関の受付印の押された「振込金領収書 (本人保存) A 票」の写しを本学所定用紙に貼付し、提出すること。 【日本国外在住者の場合】 ・P. 6 に記載のとおり検定料を振込後、本人保管用の振込証明書を本学所定用紙に貼付し、提出すること。
○	○	○	㊨ 高等学校の卒業証明書 (または卒業見込証明書) および成績証明書 【コピー不可】	・高等学校における<u>すべての学年の成績証明書および卒業証明書 (在学中の場合は卒業見込証明書)</u>を提出すること。ただし、外国における学校教育の 12 年の課程を満たさず、大学等へ進学した者は、<u>高等学校から最終出身学校までのすべての学年の成績証明書および卒業証明書 (在学中の場合は卒業見込証明書)</u>を提出すること。なお、転学、休学、退学等により、卒業証明書が発行されない場合は、在学期間証明書等を提出すること。 ・高等学校卒業程度認定試験合格者については、合格証及び成績証を提出すること。過去に高等学校に在籍したことがある場合は、在籍証明書又は退学証明書についても提出すること。 ・<u>日本語、英語、中国語以外で作成された書類については、日本語、又は英語の訳文を添付すること。</u> ・証明書および公証書等はすべて <u>6 ヶ月以内</u>に発行されたものであること。 ・外国語学習について、成績証明書に「外国語」と表記され、具体的な言語名が記載されていない場合は、訳文には何語を履修したか明記すること。 ・訳文に出願者と翻訳者との関係並びに職名を明記し、併せて翻訳者に署名してもらうこと。翻訳者は所属機関 (日本語学校等) の教員が望ましい。出願者本人の翻訳は認められない。 ・卒業証明書および成績証明書として認められるものは以下の形式のものとする。 ①卒業した学校から発行され、発行機関の認証または発行責任者の署名の入った証明書の原本 ②卒業時に本人に渡された卒業証書・成績通知表のコピーで、発行元の学校または公的機関により真正なコピーであることが証明されているもの。(例)「公証書」(中国)、「certified true copy」と呼ばれるもの) ※卒業試験の成績は、成績証明書として認められません。
○	○	○	① 日本語教育施設に関する 証明書	在籍している (又は直近に在籍していた) 日本語教育施設から 6 ヶ月以内に発行された以下の証明書を提出すること。 ①成績証明書 ②出席状況証明書 ③修了見込証明書 (又は修了証明書) ※日本国外にある日本語教育施設について上記①～③の証明書が<u>発行されない場合は</u>、様式 I (在学・成績・出席状況証明書) を使用し、在籍する日本語塾・教室等の代表者に在学期間、成績、出席状況を記入してもらい提出してください。

入試種別 提出書類			出願書類等	摘 要
推薦入学試験	外国人留学生 一般入学試験	外国人留学生 渡日前入学試験		
○	○	○	① 経費支弁書（本学所定用紙）	・経費支弁者に記入してもらうこと。 ・この書類には経費支弁者の経費支弁能力を証明できる書類（以下、㊤ 経費支弁関係各種説明書を参照のこと。）をすべて添付すること。
○	○	○	㊤ 経費支弁関係各種説明書 【コピー不可】	出願者の申請する経費支弁方法（以下ア～ウ）に従って必要な書類を提出すること。 ・経費支弁関係書類はすべて<u>6ヵ月以内に発行されたものであること。</u> ・<u>日本語、英語、中国語以外で作成された書類については、日本語または英語の訳文を添付すること。</u> ・訳文に出願者と翻訳者との関係並びに職名を明記し、併せて翻訳者に署名してもらうこと。翻訳者は所属機関（日本語学校等）の教員等が望ましい。出願者本人による翻訳は認めない。 ア. 出願者本人が経費を支弁する場合 ①出願者名義の預金残高証明書（金融機関発行の原本） 残高額は学部の場合、4年間の学費及び1年間の生活費相当額（額面450万円以上）、短期大学部の場合、2年間の学費及び1年間の生活費相当額（額面250万円以上）を支弁できることを証明すること。 ※出願者本人が経費支弁者となる場合は、出願時において20歳以上で、就業等の社会経験を有し、在学中の学費を納める資力があると判断できる者であること（この場合の就業等にアルバイトは含まない）が必要になります。 イ. 本国からの送金によって経費を支弁する場合（①～④すべての書類を提出すること） ①経費支弁者名義の預金残高証明書（金融機関発行の原本） 残高額は1年間の学費及び生活費相当額（額面200万円以上）を支弁できることを証明できるもの（例：預金者、預金証書番号、および預金額が確認できる資料）。中国の場合は「在款証明」を提出。 ②経費支弁者の直近1年間の収入証明書（経費支弁者の所属する機関が発行したもの） ※ただし、国税庁または税務署から発行された年収証明書（Certificate of Income）の提出も可とする。 ③経費支弁者の在職証明書（経費支弁者の所属する機関が発行したもの） ※自営業の場合は、本国における事業登録や営業許可等に関する証明書を提出してください。 韓国の場合は「事業登録証（Certificate of Business Registration）」等を提出してください。 ④経費支弁者と出願者との関係証明書 本国の戸籍謄本、住民票（世帯全員のもの）等を提出する。 中国の場合は「親族関係公証書」等を提出する。 ※証明書の原本を提出できない場合は公的機関で承認を受けた書類（公証書等）を提出してください。 ウ. 出願者以外の日本に居住する者が経費を支弁する場合（①～④すべての書類を提出すること） ①経費支弁者の預金残高証明書（金融機関発行の原本） 残高額は1年間の学費及び生活費相当額（額面200万円以上）を支弁できることを証明すること。 ②経費支弁者の収入を証明する書類 収入を証明する書類は、次のいずれかとする（前年の収入が記載されたもの）。

入試種別 提出書類			出願書類等	摘 要
推薦入学試験	外国人留学生 一般入学試験	外国人留学生 渡日前入学試験		
○	○	○	㊞ 経費支弁関係各種説明書 【コピー不可】	a. 市町村発行の所得証明書または所得課税証明書 (課税証明書および納税証明書も可) b. 確定申告書の写し c. 源泉徴収票の写し ③経費支弁者の在職証明書(経費支弁者の所属する機関が発行したもの) ※自営業の場合は「代表者事項証明書」、「登記事項証明書」、「登記簿謄本」等を提出してください。 ④経費支弁者と出願者の関係を説明する文書 a. 経費支弁者と出願者が親族関係にある場合 親族関係を立証できる証明書を提出する。 b. 経費支弁者と出願者が親族関係にない場合 経費支弁者を引受けた経緯および経費支弁者と出願者の関係を具体的に記述した文書を提出する。様式は自由。 ただし、経費支弁者の署名があること。
○	(注) ○	—	㊟ 出願書類送付用宛名ラベル (本学所定用紙)	・市販の角形2号(240mm×332mm)の封筒に貼付すること。なお、提出書類をアルファベット順に揃え、不備のないように封入すること。封入後、郵便窓口で簡易書留速達にて郵送すること。 (注)日本国外から出願する場合は、配達記録が残る国際郵便を利用し ていただくため、本ラベルの貼付は不要です。
○	○	○	連絡先情報フォームへの入力	出願書類㊞の(3)ページのQRコードから忘れず登録すること。 ≪連絡先情報フォーム QR コード≫  連絡先情報フォーム URL https://reg18.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=nekh-lgsiqd-02fb5ed3ecd4ca14e83fbd300c6c771b

合格発表

選考結果については、本学ホームページにて合格者の受験番号を掲載します。合格者は所定の入学者情報登録サイトを通じて「合格通知書」をダウンロードしてください。なお、可否に関する問い合わせには一切応じません。

入学手続について

外国人留学生推薦入学試験

第1次手続期限：2023年12月12日（火）入学金の納入

第2次手続期限：2024年2月29日（木）その他の学納金納入及び入学手続書類提出

外国人留学生一般入学試験（国内在住者）

第1次手続期限：2024年2月5日（月）入学金の納入

第2次手続期限：2024年2月29日（木）その他の学納金納入及び入学手続書類提出

外国人留学生一般入学試験（国外在住者）および外国人留学生渡日前入学試験

第1次手続期限：2024年2月5日（月）入学金及びその他の学納金納入（注）

第2次手続期限：2024年2月29日（木）入学手続書類提出

（注）外国人留学生一般入学試験（国外在住者）及び外国人留学生渡日前入学試験合格者は、学納金の納入が確認され次第、本学から法務省出入国在留管理庁に、「在留資格認定証明書」の申請を行います。その後、本学から審査結果をお知らせし、同証明書を郵送します。「在留資格認定証明書」を受領後、同証明書交付申請時に記載した日本国在外公館にてビザの発給申請を各自で速やかに行ってください。

学納金

授業料減免制度により**所定の手続きを行い、減免が認められた外国人留学生に対して授業料が 30%減免されます（詳細は P. 13 を参照してください）。**

ただし、2024 年 4 月 1 日現在、**在留資格が「留学」の者に限ります。**
なお、「留学」以外の在留資格の者が「留学」へ変更する場合、4 月 1 日までに在留資格の変更手続きが完了していなければ（初年度の）減免対象とはなりません。

2024 年度日本人学生学納金等 (単位：円)

種別 \ 学部	法学部	経済学部	経営学部	現代中国学部	国際コミュニケーション学部	文学部	地域政策学部	短期大学部
入 学 金	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000
授 業 料	720,000	720,000	720,000	780,000	780,000	740,000	720,000	710,000
教育充実費	290,000	290,000	290,000	290,000	290,000	200,000	200,000	210,000
初年度納入額計	1,210,000	1,210,000	1,210,000	1,270,000	1,270,000	1,140,000	1,120,000	1,120,000

※授業料：2 年次以降年額 10,000 円ずつ増額となります。



2024 年度外国人留学生学納金等（授業料が 30%減免された後の金額） (単位：円)

種別 \ 学部	法学部	経済学部	経営学部	現代中国学部	国際コミュニケーション学部	文学部	地域政策学部	短期大学部
入 学 金	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000
授 業 料	504,000	504,000	504,000	546,000	546,000	518,000	504,000	497,000
教育充実費	290,000	290,000	290,000	290,000	290,000	200,000	200,000	210,000
初年度納入額計	994,000	994,000	994,000	1,036,000	1,036,000	918,000	904,000	907,000

日本人学生学納金等の 2 年次以降の授業料の増額に伴い、外国人留学生における学納金等も増額となります。

注意：①学納金等のうち、「授業料」、「教育充実費」は学期毎の納入です。

②上記金額の他、次の学部については実習費が必要です。

実習費 (単位：円)

学部・学科・専攻		実習費	納入時期
現代中国学部		280,000	2 年次 中国語を母語とする学生は納入不要 ※為替相場の変動等により、追加徴収が必要となる場合があります。
文学部 歴史地理学科	地理学専攻	10,000	2 年次
文学部 人文社会学科	東アジア文化専攻、哲学専攻、 図書館情報学専攻、 メディア芸術専攻	10,000	2 年次
	メディア芸術専攻	60,000	2 年次以降毎年
	社会学専攻	20,000	3 年次
文学部 心理学科	心理学専攻	50,000	2 年次以降毎年
地域政策学部	食農環境コース	70,000	2 年次及び 3 年次

③一旦納入された学納金等は返還しません。ただし、2024 年 3 月 31 日 [必着] までに文書で入学辞退の届け出があった場合は、入学金を除いた学納金等を返還します。

④上記学納金・授業料減免制度等は、本学の事情によって改定する場合があります。必ず入学手続き類でご確認ください。

■委託徴収金

委託徴収金は本学が関係諸団体から依頼を受け徴収するものです。 (単位：円)

種別 \ 学部		法学部 経済学部 経営学部 現代中国学部 国際コミュニケーション学部 文学部 地域政策学部	短期大学部
後援会・同窓会費	入学手続時 1 回のみ	40,000	20,000

※金額及び徴収方法が変更になる場合があります。

外国人留学生のための支援制度

私費外国人留学生を対象とした、愛知大学独自の支援制度には、以下のものがあります。

ただし、**支援制度の対象は、在留資格が「留学」の者に限ります。**

また、奨学金制度、出願資格等は、本学の事情によって改定する場合があります。必ず募集時の要項で確認をしてください。

1. 入学試験スカラシップ制度

2022（令和4）年度または2023（令和5）年度に実施された日本留学試験の「日本語」において、320点以上取得者に対し、入学後の申請により入学年度に30万円を支給します。

ただし、上記得点（320点）には、「記述」の得点は含みません。

2. 授業料減免制度

1) 減免の対象

2024年4月1日現在、本学の学部、大学院、専門職大学院及び短期大学部の正規課程に在籍する私費外国人留学生で、経済的な支援が必要であると本学により判断され、減免が認められた者が対象となります。

ただし、一般および推薦入学者は出願時点の仕送りが平均月額9万円以下であり（入学金、授業料等は含まない）、かつ入学手続き時に「授業料減免願」を提出する必要があります。又、渡日前入学試験による入学者は入学後の仕送り見込額が平均月額9万円以下であり（入学金、授業料等は含まない）、かつ入学手続き時に「授業料減免願」を提出する必要があります。

2) 減免額

授業料年額の30%相当額。

3. 学習奨励制度

私費外国人留学生の学習奨励を目的とした、愛知大学独自の奨学金制度。

奨学金名	給付人数	給付額	概要
私費外国人留学生 学習奨励金	各学年20名以内	年額200,000円	本学が定める修得単位数や累積GPA等の基準を満たす私費外国人留学生に対して給付します。

【参考】

（公財）愛知大学教育研究支援財団奨学金

奨学金名	給付人数	給付額	概要
一般給付奨学金	45名程度 ※日本人学生を含む大学 全体（学部・大学院）	年額120,000円	学業優秀であり、経済的事由により修学困難と認められる学生に対して給付します。ただし、GPA等の要件があります。
後援会私費外国人留学生 給付奨学金	15名程度	年額100,000円	人物・成績ともに優れ、経済的事由により修学困難な私費外国人留学生に対して給付します。ただし、GPA等の要件があります。

※上記は2022年度実績です。

その他、愛知大学では、国・地方公共団体・民間団体等学外の奨学金の募集があった場合、学内で案内をし、ふさわしい人材を選考し推薦しています。

個人情報の取り扱いについて

個人情報は、外国人留学生入学試験実施の為に利用しますので、承諾した上で、出願してください。
なお、合格後は本学の学内機関等においてのみ情報提供し、利用します。

入学検定料の返還について

1. 入学検定料返還請求事由

- (1) 入学検定料を納入したが、出願書類を提出しなかった場合（書類不備や期限までに一部の書類を提出しなかった場合は対象となりません。）
- (2) 受験資格を欠くものが出願した場合
- (3) 出願締切後に出願した場合
- (4) 納入すべき入学検定料より過剰に納入した場合
- (5) 感染症に罹患した場合

※出願書類提出後、受験を取り止める、又は試験当日欠席した場合は対象となりません。

※海外の銀行口座に返還する場合、海外送金手数料は受験者負担となります。

そのため、上記（4）について返金額が手数料分を下回る場合は返還の対象となりません。

2. 返還請求方法（郵送に限ります）

- (1) 請求受付期間は以下のとおりです。
 - 推薦入学試験出願者の場合 : 2023 年 11 月 20 日（月）～12 月 1 日（金）【必着】
 - 一般・渡日前入学試験出願者の場合 : 2024 年 1 月 15 日（月）～ 1 月 26 日（金）【必着】
- (2) 下記の必要書類①～③を添付し、封筒に「入学検定料返還申請書在中」と朱書きの上、簡易書留（日本国外から郵送する場合は、国際スピード郵便（EMS）等）で郵送してください。

宛先：〒453-8777 愛知県名古屋市中村区平池町4-60-6 愛知大学国際交流課

- ①入学検定料返還申請書（本学所定用紙）
黒ボールペンで必要事項を記入してください。
- ②入学検定料振込証明書（コピー可）
- ③入学検定料返還先口座が証明できる書類（口座の通帳コピー等）

注意

- 1. 請求締切日までに必要書類が提出できない場合、提出書類の記載内容に不備・誤りがある場合は請求を受け付けません。なお、訂正は二重線で行い、訂正印を押印してください。
- 2. 入学検定料返還先口座の名義は、志願者本人又は父母としてください。
- 3. 海外の銀行口座へ返還する場合、返還までに時間を要する可能性があることを予めご了承ください。

愛知大学 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

大学全体

愛知大学では、「世界文化と平和への貢献」「国際的教養と視野をもった人材の育成」「地域社会への貢献」を建学の精神とし、「高い教養と専門的職能教育を施し、広く国際的視野をもって人類社会の発展に貢献しうる人材」の育成を全学の教育目標として掲げ、各学部・学科ごとに教育目標（教育研究上の目的）および学位授与方針を定めています。本学では、これを達成するために、定められた教育課程に従い学修する資質、能力および知識を備えた以下のような学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

- 求める学生像
 - 建学の精神に即した人材として成長が期待できる学生。
 - 優れた能力や豊かな経験に基づく各学部専門教育への強い興味や関心、勉学意欲を持つ学生。
- 入学前までに修得すべき能力
 - [知識・技能]
 - 高等学校において学ぶ各教科の基本的な内容について、幅広く理解していること。
 - 自身が入学する学部・学科で学ぶ学問に関する書籍等に触れ、基礎的な知識を得ておくこと。
 - [思考力・判断力・表現力]
 - 地域や社会で起こっている事柄に幅広く関心を持ち、その原因や解決方法などを自分なりに考える習慣を持つこと。
 - 自身の考えや意見を他者に分かりやすく伝えることができるような、表現力を養うこと。
 - [主体性・多様性・協働性]
 - 取り組むべき課題や解決が必要な諸問題に対して、他者とも協働し、主体的に取り組むことができること。
 - 自分と異なる意見や考え方について肯定的に捉え、多様な人々と積極的にコミュニケーションが取れること。
- 選抜方法
 - 一般選抜 基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、3教科以上を課し、その結果を総合判定して合格者を決定する。
 - 総合型選抜 出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格を決定する。
 - 学校推薦型選抜 調査票（全体の学習成績の状況）、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

法学部法学科

法学部では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力および知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

- 求める学生像
 - 法や政治、さらに経済など、社会科学の扱うさまざまな事象への関心を持ち、社会正義や人権についての感覚を大切にしている人。
 - 法や政治、社会的な諸問題を構造的に理解した上で、その考えを応用してさまざまな問題に対処し、社会に貢献したいという強い意欲を有する人。
 - 国際的な観点からわが国の法および政治の特徴や問題を分析したいという強い意欲を有する人。
- 入学前までに修得すべき能力
 - [知識・技能]
 - 高等学校の各教科、とりわけ国語、地理歴史・公民、数学についての基本的学力。
 - 外国語の基礎的な能力。
 - [思考力・判断力・表現力]
 - 論理的思考力。
 - 自分の考えを相手に的確に伝えることができる能力。
 - [主体性・多様性・協働性]
 - 社会の動きや状況について関心を持ち続けることができること。
 - 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を有していること。
- 選抜方法
 - 一般選抜／基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、3教科以上を課し、その結果を総合判定して合格者を決定する。
 - 総合型選抜／出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
 - 学校推薦型選抜／調査票（全体の学習成績の状況）、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

経営学部経営学科

経営学部経営学科では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力および知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

- 求める学生像
 - 企業、商品、市場の動向などダイナミックに変化している経済社会に強い関心をもった学生。
 - ビジネスや行政などのさまざまな領域で活躍し、社会に貢献することを考えている学生。
 - 国家資格等を取得して、特定の専門職のプロフェッショナルを目指そうとする学生。
- 入学前までに修得すべき能力
 - [知識・技能]
 - 高等学校段階の国語、外国語、地理歴史、公民、数学等についての十分な、あるいは本学科での学習に円滑に移行することができる程度の基礎学力。
 - [思考力・判断力・表現力]
 - 高等学校段階程度の論理的思考力・判断力・表現力。
 - [主体性・多様性・協働性]
 - さまざまな課題に積極的に取り組んできた能力。
- 選抜方法
 - 一般選抜／基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、3教科以上を課し、その結果を総合判定して合格者を決定する。
 - 総合型選抜／出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
 - 学校推薦型選抜／調査票（全体の学習成績の状況）、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

現代中国学部現代中国学科

現代中国学部では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力および知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

- 求める学生像
 - 中国に対して強い関心を持っている人。
 - 現地主義教育を通じて自ら成長したい人。
 - アジアを中心とした国際社会で活躍したい人。
 - グローバルな視野で社会貢献したい人。
 - 異文化体験を通して、自らが所属する文化・社会を理解したい人。
- 入学前までに修得すべき能力
 - [知識・技能]
 - バランスの良い基礎学力。
 - [思考力・判断力・表現力]
 - 物事を論理的に考え自分の考えを相手に説明できる能力。
 - [主体性・多様性・協働性]
 - 年齢、性別、国籍などの違いを越えて一緒に活動したり、話し合ったりできる力。
- 選抜方法
 - 一般選抜／基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、3教科以上を課し、その結果を総合判定して合格者を決定する。
 - 総合型選抜／出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
 - 学校推薦型選抜／調査票（全体の学習成績の状況）、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

経済学部経済学科

経済学部では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力および知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

- 求める学生像
 - 主体的に学習する意欲を持っている人。
 - 経済・社会に関心を持っている人。解決を必要とする問題を発見し自ら解決できる経済学の専門知識と教養を修得する意欲と実行力を持っている人。
 - 地域社会、国内外の社会で活躍、貢献したいと思っている人。
 - 他者への思いやりや公正さを重んじ、異なる考え方を尊重する、自立した社会人になりたいと思っている人。
 - 柔軟な思考力、創造力を備えるとともに、コミュニケーション能力や表現能力を高めたいと思っている人。
 - 入学前までに修得すべき能力
 - [知識・技能]
 - 基礎学力（高等学校の各教科、とりわけ、国語、数学、外国語、地理歴史、公民、理科の基礎学力）を有すること。
 - [思考力・判断力・表現力]
 - 基礎的な論理的思考力、的確な主張、文章の表現力を有すること。
 - [主体性・多様性・協働性]
 - 基礎的な会話・コミュニケーション能力を有すること。
 - 選抜方法
 - 一般選抜／基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、3教科以上を課し、その結果を総合判定して合格者を決定する。
 - 総合型選抜／出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
 - 学校推薦型選抜／調査票（全体の学習成績の状況）、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。
- ## 経営学部会計ファイナンス学科
- 経営学部会計ファイナンス学科では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力および知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。
- 求める学生像
 - 企業活動、金融市場の動向などダイナミックに変化している経済社会に強い関心をもった学生。
 - 一般企業、行政および教育などのさまざまな領域で活躍し、社会に貢献することを考えている学生。
 - 公認会計士、税理士および国税専門官などの会計専門職を目指そうとする学生。
 - 入学前までに修得すべき能力
 - [知識・技能]
 - 高等学校段階の国語、外国語、地理歴史、公民、数学等についての十分な、あるいは本学科で学習に円滑に移行することができる程度の基礎学力。
 - [思考力・判断力・表現力]
 - 高等学校段階程度の論理的思考力・判断力・表現力。
 - [主体性・多様性・協働性]
 - さまざまな課題に積極的に取り組んできた能力。
 - 選抜方法
 - 一般選抜／基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、3教科以上を課し、その結果を総合判定して合格者を決定する。
 - 総合型選抜／出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
 - 学校推薦型選抜／調査票（全体の学習成績の状況）、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

国際コミュニケーション学部英語学科

国際コミュニケーション学部英語学科では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力および知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像
 - (1) 英語をはじめとする外国語を習得したい人。
 - (2) 異文化理解に関心を持ち、異文化体験を通して視野を広げたい人。
 - (3) 国際的な場での社会貢献をしたい人。
 - (4) 企業の海外事業や国際流通部門、航空・旅行会社など、海外の人と関わる職業で活躍したい人。
 - (5) 英語教師となり地域社会や教育の分野で自らの学びを還元したい人。
2. 入学前までに修得すべき能力
[知識・技能]
 - (1) 英語学科での教育を受けるのに必要とされる高校卒業程度教育課程を修得している。
 - (2) 高校卒業程度の英語力を有し、日常生活に必要な英語を理解し、使用できる。[思考力・判断力・表現力]
 - (1) 物事を論理的に考え、自分の意見をわかりやすく説明しようと努力できる。
 - (2) 自ら課題を発見・解決するための基礎学力を身につけている。[主体性・多様性・協働性]
 - (1) 主体的に学ぶ姿勢を身につける意欲がある。
 - (2) 多様な社会的・文化的背景を持つ人々に関心を持つことができる。
3. 選抜方法
 - (1) 一般選抜／基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、3教科以上を課し、その結果を総合判定して合格者を決定する。
 - (2) 総合型選抜／出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
 - (3) 学校推薦型選抜／調査票（全体の学習成績の状況）、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

文学部人文社会学科

文学部人文社会学科では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力および知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像
 - (1) [一般選抜] 高等学校の各教科、とりわけ国語、外国語、地理歴史、公民、数学について基本的学力を有しており、応用、発展的内容の学習へ進む準備ができている人。
[学校推薦型選抜] 高等学校段階の各教科の基本的内容について学習、理解しており、大学における学習に支障なく移行、適応できる学力を有している人。
 - (2) 人間のさまざまな営みと活動について多様な興味や関心を抱いており、個、集団、地域などの観点から、過去あるいは現在について観察、考察し、さらに未来を展望することに魅力を感じている人。また、そのための新たな、より高度な知識や分析手法を習得したいという意欲のある人。
 - (3) 大学において学習、習得した人文学の専門的知識、視座、研究方法と、広義のリテラシー能力、コミュニケーション能力を、将来自己の人生、職業、社会貢献などに活かしていきたいという意思を有する人。
2. 入学前までに修得すべき能力
[知識・技能]
 - (1) 人文・社会系の学問に関心があり、基礎的な知識とそれを運用する能力を有している。[思考力・判断力・表現力]
 - (1) ものごとを自ら論理的に考えるための基礎的能力を有している。[主体性・多様性・協働性]
 - (1) 自分の意見などを発表する基礎的能力を有している。
 - (2) 他者の意見などを聞き対話する基礎的能力を有している。
3. 選抜方法
 - (1) 一般選抜／基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、3教科以上を課し、その結果を総合判定して合格者を決定する。
 - (2) 総合型選抜／出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
 - (3) 学校推薦型選抜／調査票（全体の学習成績の状況）、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

文学部日本語日本文学科

文学部日本語日本文学科では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力および知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像
 - (1) [一般選抜] 高等学校の各教科、とりわけ国語、外国語、公民、数学、地理歴史について基本的学力を有しており、応用、発展的内容の学習へ進む準備ができている人。
[学校推薦型選抜] 高等学校段階の各教科の基本的内容について学習、理解しており、大学における学習に支障なく移行、適応できる学力を有している人。
 - (2) 「日本語」「日本文学」「日本語表現」について興味や関心を抱いており、過去から現在、未来へと至る日本文化について思考・構想することに魅力を感じている人。また、それを思考・構想するための高度な知識や分析方法を習得したいという意欲のある人。
 - (3) 大学において学習、習得した日本語・日本文学・日本語表現学に関する専門的知識や研究方法、広義のリテラシー能力を、将来的な自己の人生、職業、社会貢献などに活かしていくこととする意志を有する人。
2. 入学前までに修得すべき能力
[知識・技能]
 - (1) 日本語学や日本文学に関心があり、基礎的な知識とそれを運用する能力を有している。[思考力・判断力・表現力]
 - (1) ものごとを自ら論理的に考えるための基礎的能力を有している。[主体性・多様性・協働性]
 - (1) 自分の意見などを発表する基礎的能力を有している。
 - (2) 他者の意見などを聞き対話する基礎的能力を有している。
3. 選抜方法
 - (1) 一般選抜／基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、3教科以上を課し、その結果を総合判定して合格者を決定する。
 - (2) 総合型選抜／出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
 - (3) 学校推薦型選抜／調査票（全体の学習成績の状況）、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

国際コミュニケーション学部国際教養学科

国際コミュニケーション学部国際教養学科では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力および知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像
 - (1) 国際交流に意欲を持っている人。
 - (2) 異文化理解に必要な知識や技能を積極的に吸収しようとする人。
 - (3) 異なる社会・文化背景をもつ人々と積極的にコミュニケーションを取ろうと努める人。
2. 入学前までに修得すべき能力
[知識・技能]
 - (1) 国際教養学科での教育を受けるのに必要とされる高等学校の教育課程を修得している人。
 - (2) アメリカ・アジア（日本を含む）・ヨーロッパをめぐる歴史、政治、経済、社会、文化、国際関係への関心をもち、必要な知識や技能を積極的に吸収しようとする人。[思考力・判断力・表現力]
 - (1) 現在の国際社会のさまざまな問題を多面的かつ論理的に考え、自分の意見をわかりやすく説明しようと努める人。
 - (2) 異文化理解を深めた上で、日本語・日本文化を海外に積極的に紹介したいと考えている人。[主体性・多様性・協働性]
 - (1) 多様な文化背景をもつ人々と協働して主体的に学ぶ姿勢を身につける意欲をもった人。
 - (2) 異文化を理解して国際社会や世界の中での地域社会において積極的に貢献したいと考えている人。
3. 選抜方法
 - (1) 一般選抜／基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、3教科以上を課し、その結果を総合判定して合格者を決定する。
 - (2) 総合型選抜／出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
 - (3) 学校推薦型選抜／調査票（全体の学習成績の状況）、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

文学部歴史地理学科

文学部歴史地理学科では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力および知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像
 - (1) [一般選抜] 高等学校の各教科、とりわけ国語、外国語、地理歴史、公民、数学について基本的学力を有しており、応用、発展的内容の学習へ進む準備ができている人。
[学校推薦型選抜] 高等学校段階の各教科の基本的内容について学習、理解しており、大学における学習に支障なく移行、適応できる学力を有している人。
 - (2) 人間や社会の歴史的展開や、人々が生活する地理的環境などについて興味や関心を抱いており、個、集団、地域などの観点から、あるいは過去、あるいは現在について観察、考察し、さらに未来を展望することに魅力を感じている人。また、そのための新たな、より高度な知識や分析手法を習得したいという意欲のある人。
 - (3) 大学において学習、習得した歴史学・地理学の専門的知識、視座、研究方法と、広義のリテラシー能力、コミュニケーション能力を、将来自己の人生、職業、社会貢献などに活かしていきたいこととする意思を有する人。
2. 入学前までに修得すべき能力
[知識・技能]
 - (1) 歴史学や地理学に関心があり、基礎的な知識とそれを運用する能力を有している。[思考力・判断力・表現力]
 - (1) ものごとを自ら論理的に考えるための基礎的能力を有している。[主体性・多様性・協働性]
 - (1) 自分の意見などを発表する基礎的能力を有している。
 - (2) 他者の意見などを聞き対話する基礎的能力を有している。
3. 選抜方法
 - (1) 一般選抜／基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、3教科以上を課し、その結果を総合判定して合格者を決定する。
 - (2) 総合型選抜／出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
 - (3) 学校推薦型選抜／調査票（全体の学習成績の状況）、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

文学部心理学科

文学部心理学科では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力および知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像
 - (1) [一般選抜] 高等学校の各教科、とりわけ国語、外国語、公民、数学、生物、地理歴史について基本的学力を有しており、応用、発展的内容の学習へ進む準備ができている人。
[学校推薦型選抜] 高等学校段階の各教科の基本的内容について学習、理解しており、大学における学習に支障なく移行、適応できる学力を有している人。
 - (2) 人間のさまざまな営みと活動について多様な興味や関心を抱いており、個、集団、地域などの観点から、あるいは過去、あるいは現在について観察、考察し、さらに未来を展望することに魅力を感じている人。また、そのための新たな、より高度な知識や分析手法を習得したいという意欲のある人。
 - (3) 大学において学習、習得した心理学の専門的知識、視座、研究方法と、広義のリテラシー能力、コミュニケーション能力を、将来自己の人生、職業、社会貢献などに活かしていきたいという意思を有する人。
2. 入学前までに修得すべき能力
[知識・技能]
 - (1) 心理学を学ぶために必要な基礎的な知識とそれを運用する能力を有している。[思考力・判断力・表現力]
 - (1) ものごとを自ら論理的に考えるための基礎的能力を有している。[主体性・多様性・協働性]
 - (1) 自分の意見などを発表する基礎的能力を有している。
 - (2) 他者の意見などを聞き対話する基礎的能力を有している。
3. 選抜方法
 - (1) 一般選抜／基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、3教科以上を課し、その結果を総合判定して合格者を決定する。
 - (2) 総合型選抜／出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
 - (3) 学校推薦型選抜／調査票（全体の学習成績の状況）、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

地域政策学部地域政策学科

地域政策学部では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力および知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像

- (1) 故郷や住んでいる地域、自然環境を愛し、その変化に関心を持っている人。
- (2) 地域の問題や地方の課題を解決したいと思っている人。
- (3) 新しい政治や経済、行政のあり方を追求したい人。
- (4) 安全・安心で個性的なまちづくり・社会づくりに情熱を持っている人。
- (5) 知識の習得にとどまらず、豊かな人間性を育みたいと思っている人。
- (6) 世界の人々と交流し異文化体験を糧として成長したいと願っている人。

2. 入学前までに修得すべき能力

〔知識・技能〕

- (1) 地域政策学を学習するために必要な基本的な知識、読解力。
- (2) ワープロソフト・表計算ソフト、プレゼンテーションソフトなどの基本ソフトを操作する能力。

〔思考力・判断力・表現力〕

- (1) 基本的な知識・技能を踏まえた論理的思考力・判断力。
- (2) 課題について情報を収集し、分析し、表現する能力。

〔主体性・多様性・協働性〕

- (1) 目的意識・意欲をもち、継続的にものごとに取り組む能力。
- (2) 多様な考えを理解し、グループとしての意見を形成する能力。

3. 選抜方法

- (1) 一般選抜／基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、3教科以上を課し、その結果を総合判定して合格者を決定する。
- (2) 総合型選抜／出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
- (3) 学校推薦型選抜／調査票（全体の学習成績の状況）、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

短期大学部ライフデザイン総合学科

短期大学部ライフデザイン総合学科では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力および知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像

- (1) 豊かな教養を求め、自国のことばや文化に関心の高い人。
- (2) 英語をはじめとする外国語の習得に強い意欲をもち、異文化理解に興味のある人。
- (3) 社会人・職業人になることの意味を積極的に考え、それに向かって努力できる人。
- (4) 人と人、人と社会の関係などに問題意識をもち、自ら成長したいと思っている人。
- (5) 高校時代までにサークル活動、ボランティア活動等に熱中したことがあり、その経験を語れる人。

2. 入学前までに修得すべき能力

〔知識・技能〕

- (1) さまざまな科目を広く学んだ基礎学力。
- (2) 日本語による会話・コミュニケーション能力。

〔思考力・判断力・表現力〕

- (1) 論理的思考力、的確な主張、文章の表現力。

〔主体性・多様性・協働性〕

- (1) 豊かな経験に基づく学習意欲。

3. 選抜方法

- (1) 一般選抜／基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、国語・英語を課し、その結果を総合判定して合格者を決定する。
- (2) 総合型選抜／出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
- (3) 学校推薦型選抜／調査票（全体の学習成績の状況）、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

出願書類等チェックシート

APPLICATION DOCUMENTS CHECKLISTS

出願する入学試験を1つチェック（☒）してください。

☐ 推薦入学試験
 ☐ 一般入学試験
 ☐ 渡日前入学試験

受験する試験に応じて、出願書類を確認し、チェック（☒）してください。
 なお、このチェックシートは提出不要です。

出願書類の作成にあたっては、入学試験要項 P. 7～P. 10 の摘要欄を確認してください。

入試種別提出書類			チェック	出願書類等
推薦入学試験 外国人留学生	一般入学試験 外国人留学生	渡日前入学試験 外国人留学生		
☐	☐	☐	☐	㉠ 愛知大学・愛知大学短期大学部入学志願書（本学所定用紙）
☐	☐	☐	☐	㉡ 日本語能力認定書（本学所定用紙）
☐	(注) ☐	—	☐	㉢ 住民票の写し（原本）【コピー不可】（注）国外在住者は提出不要
☐	☐	☐	☐	㉣ パスポートのコピー貼付用（本学所定用紙に貼付）
☐	—	—	☐	㉤ 推薦書（本学所定用紙）
☐	☐	☐	☐	㉥ 日本語能力に関する受験票等のコピー貼付用（本学所定用紙に貼付）
☐	☐	☐	☐	㉦ 検定料振込証明書の写し貼付用（本学所定用紙に貼付）
☐	☐	☐	☐	㉧ 高等学校の卒業証書（または卒業見込証明書）および成績証明書【コピー不可】
☐	☐	☐	☐	㉨ 日本語教育施設に関する証明書（在学・成績・出席状況証明書）
☐	☐	☐	☐	㉩ 経費支弁書（本学所定用紙）
☐	☐	☐	☐	㉪ 経費支弁関係各種説明書【コピー不可】
☐	(注) ☐	—	☐	㉫ 出願書類送付用宛名ラベル（本学所定用紙）（注）国外在住者は提出不要
☐	☐	☐	☐	連絡先情報フォームへの入力（㉠の(3)ページのQRコードから登録）

〈注意事項〉

- ①書類はすべて黒のボールペンで記入してください（鉛筆、消せるボールペンは使用不可）。
- ②訂正する際は、二重線で訂正してください（修正液、修正テープは使用不可）。
- ③書類は本冊子から切り離し、上表の順に並べて提出してください。
- ④証明書等はすべて6カ月以内に発行されたものを提出してください。
- ⑤書類に不備・不足がある場合は受け付けません。
- ⑥一度提出した書類は、一切返却しません。
- ⑦必要に応じ、追加資料の提出を求めることがあります。
- ⑧書類に虚偽の記入や改ざんが発覚した場合は受験資格を失い、合格後であっても入学資格を取り消します。

記入例

※記入例は（１）、（２）、（３）ページのみになります。

受験番号

※

愛知大学・愛知大学短期大学部入学志願書

APPLICATION FOR ADMISSION TO AICHI UNIVERSITY,
OR AICHI UNIVERSITY JUNIOR COLLEGE
(Please print in black letters)

出願する入学試験を１つチェック（☑）してください。

☐ 推薦入学試験☒ 一般入学試験☐ 渡日前入学試験

フリガナ	ジョ	ロアン
1. 氏 名 Full Name	徐 (Family Name)	路安 (First Name) (Middle Name)
パスポート表記氏名 Name as written on passport	XU LUAN	
2. 国 籍 Nationality	中国	3. 性別(✓) Sex 男 ☒ 女 ☐ Male Female
4. 生年月日 Date of Birth	西暦 2004 年 2 月 9 日	5. 年齢 Age 20 歳 (2024 年 4 月 1 日現在)
6. 現 住 所 Present Address	〒460-0000 名古屋市東区筒井3丁目1番地ユタカ荘301号 Tel. 052-999-0001 携帯電話 080-9999-0001	
7. 本国の住所 Home address	Postal code 100000 中国 北京市西城西北七条七号 Tel. 86-10-2021202	
8. E-mail Address	nyusi@aichidaigaku.co.jp	

9. 入学希望学部・学科・コース いずれか1つをチェック（✓）してください。（2つ以上チェックしないでください。）

Faculty and department to which you are applying for admission.

	学部	学科	コース	キャンパス
☐	法	法	—	名古屋
☐	経済	経済	—	
☒	経営	経営	—	
☐	経営	会計ファイナンス	—	
☐	現代中国	現代中国	—	
☐	国際コミュニケーション	英語	—	
☐	国際コミュニケーション	国際教養	—	
☐	文	人文社会（注）	—	豊橋
☐	地域政策	地域政策	公共政策	
☐	地域政策	地域政策	経済産業	
☐	地域政策	地域政策	まちづくり・文化	
☐	地域政策	地域政策	健康・スポーツ	
☐	地域政策	地域政策	食農環境	
☐	短期大学部	ライフデザイン総合	—	

(注) 文学部は学部全体入試を実施します。本人の希望と1年次の成績により、2年次進級時に所属する学科・コース・専攻が決まります（1年次の所属は、便宜上、人文社会学科になります。）

※印は記入しないこと。

受験番号	※
------	---

10. 在日親族（父・母・配偶者・子・兄弟姉妹など）の有無（✓）（有☒ ・ 無☐）

Family in Japan (Father, Mother, Spouse, Son, Daughter, etc.)

続柄 Relationship	氏名 Name	年齢 Age	国籍 Nationality	同居予定の有無 Residing with Application or Not	職業 Occupation	在留資格 Status of Residence
姉	徐路林	22	中国	有	学生	留学

出願者本人の在留資格の種類を記入すること

11. 在留資格の有無（✓）

（有☒：在留資格 留学 / 在留期間（満了日） 2024年 4月 1日
Status of Residence Period of stay (year) (month) (day)
(Date of Expiration)

（無☐）

12. 学歴

Educational History (注) 小学校から始めて、通学したすべての学校を年代順に記入すること。

Note: List, in chronological order, all the schools you attended starting from primary school.

	学校名 School	所在地 Location	在学期間 Period of Attendance	在学年数 Duration
小学校 Primary	北京市 第1小学校	北京市 西城区	2010年 9月～ 2016年 7月 from year month to year month	6年 year
中学校 Secondary	北京市 132中学校	北京市 西城区	2016年 9月～ 2019年 7月 from year month to year month	3年 year
高等学校 High	北京市 132中学高校部	同上	2019年 9月～ 2022年 7月 from year month to year month	3年 Year (在学 <u>卒業</u>)
小学校から高校卒業までの通算期間 Total period from primary to high school			12年 Year	月 month

高校卒業以降の学歴（✓）（有☐ ・ 無☒）（注）日本語学校は含めない。

Educational History after graduating high school

	学校名 School	所在地 Location	在学期間 Period of Attendance	在学年数 Duration
			年 月～ 年 月 from year month to year month	年 Year (在学・卒業・退学)
			年 月～ 年 月 from year month to year month	年 Year (在学・卒業・退学)

高等学校卒業後に大学や専門学校等へ進学した場合は
記入すること（日本語学校は含めない）

13. 職歴の有無（✓）（有☒ ・ 無☐）（注）アルバイトは含めない。

Work Experience

勤務先名 Name of Employer	勤務場所 Location	勤務期間 Period of Employment
北京市国棉一厂	北京市朝陽区	2022年 9月～ 2023年 3月 from year month to year month
		年 月～ 年 月 from year month to year month

就業経験がある場合は記入すること（アルバイトは含まない）

※印は記入しないこと。

14. 言語能力

Language Ability

現在、日本語教育施設等に在籍している者は
修了予定年月を記入すること

(1) 現在までの日本語学習歴

Japanese

学 校 名 School	所 在 地 Location	学習期間 Period of Study
町畑日本語学校	名古屋市中区	2023 年 4 月 ~ 2024 年 3 月 from year month to year month
		年 月 ~ 年 月 from year month to year month

※現在、日本語教育施設等に在籍している者は修了予定年月を記入すること。

※日本語塾・教室、個人レッスン、独学等の場合も記入すること。

(2) 現在までの英語学習歴の有無 (✓)

English

(有 ☒ : 9 年) ← 小学校入学以降の英語学習歴 (年数) を記入してください。

(無 ☐)

※小学校入学以降の英語学習歴 (年数) を記入すること。

15. 連絡先情報フォーム

本学からの連絡のために使用しますので、外国人留学生入学試験へ出願する方は、必要事項を入力していただき、顔写真データをアップロードしたうえで送信してください (送信受付期間は出願期間と同様です)。



左記の QR コードを読み込んで入力画面にアクセスしてください。

入力・送信が完了しましたら、右の□にチェック (✓) してください【□】

(読み込めない場合はこちら

<https://reg18.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=nekh-lgsiqd-02fb5ed3ecd4ca14e83fbd300c6c771b>)

※印は記入しないこと。

受験番号	※
------	---

愛知大学・愛知大学短期大学部入学志願書

APPLICATION FOR ADMISSION TO AICHI UNIVERSITY,
OR AICHI UNIVERSITY JUNIOR COLLEGE
(Please print in black letters)

出願する入学試験を1つチェック（☑）してください。

☐ 推薦入学試験 ☐ 一般入学試験 ☐ 渡日前入学試験

フリガナ			
1. 氏 名 Full Name	(Family Name)	(First Name)	(Middle Name)
パスポート表記氏名 Name as written on passport			
2. 国 籍 Nationality		3. 性別(☑) Sex	男 ☐ 女 ☐ Male Female
4. 生年月日 Date of Birth	西暦 年 月 日	5. 年齢 Age	歳 (2024年4月1日現在)
6. 現 住 所 Present Address	〒 - Tel. 携帯電話		
7. 本国の住所 Home address	Postal code Tel.		
8. E-mail Address	@		

9. 入学希望学部・学科・コース いずれか1つをチェック（☑）してください。（2つ以上チェックしないでください。）
Faculty and department to which you are applying for admission.

	学部	学科	コース	キャンパス
☐	法	法	—	名古屋
☐	経済	経済	—	
☐	経営	経営	—	
☐	経営	会計ファイナンス	—	
☐	現代中国	現代中国	—	
☐	国際コミュニケーション	英語	—	
☐	国際コミュニケーション	国際教養	—	
☐	文	人文社会（注）	—	豊橋
☐	地域政策	地域政策	公共政策	
☐	地域政策	地域政策	経済産業	
☐	地域政策	地域政策	まちづくり・文化	
☐	地域政策	地域政策	健康・スポーツ	
☐	地域政策	地域政策	食農環境	
☐	短期大学部	ライフデザイン総合	—	

（注）文学部は学部全体入試を実施します。本人の希望と1年次の成績により、2年次進級時に所属する学科・コース・専攻が決まります（1年次の所属は、便宜上、人文社会学科になります。）

※印は記入しないこと。

+

+

受験番号	※
------	---

10. 在日親族（父・母・配偶者・子・兄弟姉妹など）の有無（✓）（有□ ・ 無□）

Family in Japan (Father, Mother, Spouse, Son, Daughter, etc.)

続柄 Relationship	氏名 Name	年齢 Age	国籍 Nationality	同居予定の有無 Residing with Application or Not	職業 Occupation	在留資格 Status of Residence

11. 在留資格の有無（✓）

（有 □：在留資格_____ / 在留期間（満了日）_____年 _____月 _____日）
Status of Residence Period of stay (year) (month) (day)
(Date of Expiration)

（無 □）

+

12. 学歴

Educational History (注) 小学校から始めて、通学したすべての学校を年代順に記入すること。

Note: List, in chronological order, all the schools you attended starting from primary school.

	学校名 School	所在地 Location	在学期間 Period of Attendance	在学年数 Duration
小学校 Primary			年 月～ 年 月 from year month to year month	年 year
中学校 Secondary			年 月～ 年 月 from year month to year month	年 year
高等学校 High			年 月～ 年 月 from year month to year month	年 Year (在学・卒業)
小学校から高校卒業までの通算期間 Total period from primary to high school			年 月 Year month	

高校卒業以降の学歴（✓）（有□ ・ 無□）（注）日本語学校は含めない。

Educational History after graduating high school

	学校名 School	所在地 Location	在学期間 Period of Attendance	在学年数 Duration
			年 月～ 年 月 from year month to year month	年 Year (在学・卒業・退学)
			年 月～ 年 月 from year month to year month	年 Year (在学・卒業・退学)

+

13. 職歴の有無（✓）（有□ ・ 無□）（注）アルバイトは含めない。

Work Experience

勤務先名 Name of Employer	勤務場所 Location	勤務期間 Period of Employment
		年 月～ 年 月 from year month to year month
		年 月～ 年 月 from year month to year month

※印は記入しないこと。

+

+

14. 言語能力

Languages Ability

(1) 現在までの日本語学習歴

Japanese

学 校 名 School	所 在 地 Location	学 習 期 間 Period of Study
		年 月 ～ 年 月 from year month to year month
		年 月 ～ 年 月 from year month to year month

※現在、日本語教育施設等に在籍している者は修了予定年月を記入すること。

※日本語塾・教室、個人レッスン、独学等の場合も記入すること。

(2) 現在までの英語学習歴の有無 (✓)

English

(有 ☐ : _____ 年)

(無 ☐)

+ ※小学校入学以降の英語学習歴（年数）を記入すること。

15. 連絡先情報フォーム

本学からの連絡のために使用しますので、外国人留学生入学試験へ出願する方は、必要事項を入力していただき、顔写真データをアップロードしたうえで送信してください（送信受付期間は出願期間と同様です）。



左記の QR コードを読み込んで入力画面にアクセスしてください。

入力・送信が完了しましたら、右の□にチェック (✓) してください【□】

(読み込めない場合はこちら

<https://reg18.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=nekh-lgsiqd-02fb5ed3ecd4ca14e83fbd300c6c771b>)

※印は記入しないこと。

+

+

+

+

受験番号

※

日本語能力認定書

PROFICIENCY IN JAPANESE

出願者氏名

Name of Applicant : _____

現住所 〒

Present Address : _____ Tel. _____

日本語講師等、認定書作成に相当と思われる方に記入を依頼し、**厳封**して提出すること。

This report should be completed by one of the followings: an instructor in Japanese, or other qualified person, and this should be sealed tightly to submit.

日本語の熟達程度 (✓) チェックしてください。

Proficiency of Japanese

+

読 解 力 Reading Ability	A ☐	B ☐	C ☐	D ☐	A : 大学での勉学に十分な能力を持つ
筆 記 力 Writing Ability	A ☐	B ☐	C ☐	D ☐	B : 大学での勉学には未だ不十分だが、 今後の努力によって十分な能力の 向上が期待される
聴 解 力 Listening Ability	A ☐	B ☐	C ☐	D ☐	C : 大学での勉学には相当の努力が 必要である
会 話 力 Speaking Ability	A ☐	B ☐	C ☐	D ☐	D : 大学での勉学は困難である

学 習 方 法

Study Methods : _____

(クラスのサイズ、媒介語の使用、主に使用したメソッドやアプローチなど)

+

使用テキスト

Textbooks used : _____

備考(出席率等)

Remarks : _____

日 付

Date : 2023 年 月 日

氏 名

Full Name : _____

所属機関および職位名

Name of Institution and Title : _____

現住所

Present Address : _____

電話

Tel : _____

E-Mail Address : _____

(注) 認定書記入者の方へ 本認定書を**厳封**の上、出願者本人へお渡してください。

※印は記入しないこと。

+

+

受験番号	※
------	---

パスポートのコピー貼付用紙
FOR ATTACHING A COPY OF PASSPORT

出願者氏名 Name of Applicant	
----------------------------	--

パスポート（氏名・パスポート番号・顔写真の掲載されているページ）を
コピーし、貼付してください。

※印は記入しないこと。

+

+

受験番号

※

推 薦 書

LETTER OF RECOMMENDATION

2023 年 月 日

愛 知 大 学 長 殿

所在地

学校名

代表者名

印

貴大学外国人留学生として、下記の者を適格と認め推薦いたします。

— 記 —

姓		生 年 月 日	年 月 日	国 籍	
氏 名	(男 ・ 女)				

推薦理由（所見）

記載者職位名

記載者氏名

Tel

E-Mail

注1. 推薦入試出願者のみ提出してください。

2. 推薦理由（所見）は出願者をもっともよく理解している担任日本語講師等が記入し、**厳封**して提出してください。

※印は記入しないこと。

+

+

受験番号	※
------	---

日本語能力に関する受験票等のコピー貼付用紙
FOR ATTACHING A COPY OF CERTIFICATE OF JAPANESE LANGUAGE PROFICIENCY TEST

出 願 者 氏 名 Name of Applicant	
【推薦入学試験出願者】 2022（令和4）年度または2023（令和5）年度に受験した日本留学試験「受験票」のコピー、2022（令和4）年度または2023（令和5）年度に受験した日本語能力試験「日本語能力認定書兼合否結果通知書」のコピーの<u>いずれか1回分</u>を提出すること（複数回分の提出は不可）。 ※日本留学試験の場合「成績確認書」も可とする。 ・2022（令和4）年度第1回日本留学試験（2022年 6月実施） ・2022（令和4）年度第2回日本留学試験（2022年 11月実施） ・2023（令和5）年度第1回日本留学試験（2023年 6月実施） ・2022年度第1回日本語能力試験（2022年 7月） ・2022年度第2回日本語能力試験（2022年 12月） ・2023年度第1回日本語能力試験（2023年 7月） （注）日本語能力試験「日本語能力認定書兼合否結果通知書」のコピーを提出いただいた方は関連団体へ真偽確認の依頼をしますので、これに同意の上、提出してください。 （注）出願後の変更はできません。 【一般・渡日前入学試験出願者】 2022（令和4）年度または2023（令和5）年度に受験した日本留学試験「受験票」のコピーの<u>いずれか1回分</u>を提出すること（複数回分の提出は不可） ※日本留学試験の「成績確認書」も可とする。 ・2022（令和4）年度第1回日本留学試験（2022年 6月実施） ・2022（令和4）年度第2回日本留学試験（2022年 11月実施） ・2023（令和5）年度第1回日本留学試験（2023年 6月実施） ・2023（令和5）年度第2回日本留学試験（2023年 11月実施） （注）一般・渡日前入学試験出願者は日本語能力試験「日本語能力認定書兼合否結果通知書」のコピーの提出は認められません。 （注）出願後の変更はできません。	

※印は記入しないこと。

+

+

受験番号

※

検定料振込証明書の写し貼付用紙

FOR ATTACHING TRANSFER STATEMENT

出 願 者 氏 名
Name of Applicant

【日本国内在住者の場合】

- ・検定料振込後、金融機関の受付印の押された「振込金領収書（本人保存）A票」の写しを本紙に貼付してください。

【日本国外在住者の場合】

- ・P6 に記載のとおり検定料を振込後、本人保管用の振込証明書を本紙に貼付してください。

※印は記入しないこと。

+

+

※本様式は日本国外にある日本語教育施設において、成績証明書・出席状況証明書・
修了見込証明書（又は修了証明書）が発行されない場合に限り、使用してください。
（日本国内にある日本語教育施設については、本様式を使用しないでください。）

受験番号

※

日本語教育施設に関する証明書(在学・成績・出席状況証明書)

出願者氏名 _____

〒

現 住 所 _____ Tel. _____

■在学証明

在学期間： _____ 年 _____ 月 ～ _____ 年 _____ 月

■成績証明

+ 該当箇所に○をつけてください。

読 解 力	A	B	C	D
筆 記 力	A	B	C	D
聴 解 力	A	B	C	D
会 話 力	A	B	C	D

■出席状況証明

2022 年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
授業日数													
出席日数													
2023 年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
授業日数													
出席日数													

上記内容に相違ないことを証明します。

日 付 _____ 2023 年 _____ 月 _____ 日

学 校 名 _____

代表者名 _____

所 在 地 _____

※印は記入しないこと。

+

+

受験番号

※

経 費 支 弁 書

PLEDGE WRITTEN BY THE SPONSOR

この書類には経費支弁者の経費支弁能力を証明できる以下①～④の書類をすべて添付してください。
(ただし、出願者本人が経費支弁者となる場合は①の書類のみ。) 詳細は P. 9 を参照のこと。

①預金残高証明書 (注)

②収入証明書

③在職証明書

④出願者との関係証明書

(注) 1年間の学費及び生活費相当額 (預金残高証明書の額面 200 万円以上) を支弁できることが証明できること。
ただし、出願者本人が経費支弁者となる場合は、以下の要件をすべて満たすこと。

- ・出願時において 20 歳以上で、就業等の社会経験を有していること (この場合の就業等にアルバイトは含まない)
- ・在学中の学費等を支弁する資力を証明できること。
学部にあつては 4 年間の学費及び 1 年間の生活費相当額 (本人名義の預金残高証明書の額面 450 万円以上)
短期大学部にあつては 2 年間の学費及び 1 年間の生活費相当額 (本人名義の預金残高証明書の額面 250 万円以上)

+ 愛知大学長殿

To President of Aichi University

出願者氏名 Name of Applicant			
国籍 Nationality		生年月日 Date of Birth	年 月 日 Year Month Day

私は、上記の者が、愛知大学に在学中の留学費用 (学費及び生活費) について責任をもって支弁し、貴大学にご迷惑をかけないことを誓約します。

I shall be responsible for the payment of all educational expenses (School expenses and Living expenses) for above-named applicant for the duration on his or her stay at Aichi University.

+

経費支弁者氏名 Name of Financial Supporter	
英字氏名 Name in English	
住所 Present Address	
電話番号 Phone	
職業 (勤務先の名称) Occupation(Place of employment)	
出願者との関係 Relationship to the Applicant	

2023 年 月 日
Year Month Day

経費支弁者署名
Name of Financial Supporter

※印は記入しないこと。

+

+

速 達

切手貼付
(簡易書留速達分)

〒453-8777

愛知県名古屋市中村区平池町4-60-6

愛知大学 国際交流課 行

入学希望学部・学科・コース いずれか1つをチェック (☑) してください。

	学部	学科	コース	校舎
☐	法	法	—	名古屋
☐	経済	経済	—	
☐	経営	経営	—	
☐	経営	会計ファイナンス	—	
☐	現代中国	現代中国	—	
☐	国際コミュニケーション	英語	—	
☐	国際コミュニケーション	国際教養	—	
☐	文	人文社会 (注)	—	豊橋
☐	地域政策	地域政策	公共政策	
☐	地域政策	地域政策	経済産業	
☐	地域政策	地域政策	まちづくり・文化	
☐	地域政策	地域政策	健康・スポーツ	
☐	地域政策	地域政策	食農環境	
☐	短期大学部	ライフデザイン総合学科	—	

(注) 文学部は学部全体入試を実施します。本人希望と1年次の成績により、2年次進級時に所属する学部・コース・専攻が決まります (1年次の所属は、便宜上、人文社会学科になります)。

〒

住 所

氏 名

出願書類がすべて入っていますか？

もう一度入学試験要項 P. 18 の出願書類チェックシートを確認し、
チェック (☑) してください。

☐ 確認しました

振込金 領収書（本人保存） A 票
入学検定料振込用紙

金額	35,000 円		
振込先	三菱 UFJ 銀行 すずかぜ支店 普通 4716921		
受取人	学校法人 愛知大学		
依頼人	フリガナ		
	氏名		

上記のとおり正に領収いたしました。

年 月 日

受付銀行収納印

1

収入
印紙

キリトリ

取扱銀行
へのお願い

①太線内をその日のうちに打電してください。
②金額訂正したものは取り扱わないでください。
③収納印は1・2にもれなく正確に押印し、A票は依頼人に
お返しください。

銀行切り離し

電 信 扱 振込依頼書（取扱店保存） B 票

依頼日	年 月 日			
金 額	35,000 円		手数料	
振込先	三菱 UFJ 銀行 すずかぜ支店 普通 4716921			
受取人	ガク) アイチダイガク			
	学校法人 愛知大学			
依頼人	フリガナ			
	氏名			
	住 所			
	TEL			

受付銀行収納印

2

キリトリ

To Whom It May Concern :

WHEN YOU TAKE A BANK WIRE TRANSFER PROCESS, PLEASE ENSURE THE FOLLOWING ITEMS BELOW.

1. PLEASE SEND THE REQUESTED PAYMENT DIRECTLY TO OUR LOCAL BANK BELOW:

MUFG BANK, LTD. NAGOYAEKIMAE BRANCH

2. PLEASE ENSURE THAT THE FULL AMOUNT OF PAYMENT IS SENT TO OUR LOCAL BANK.

THE PAYER NEEDS TO COVER WIRE TRANSFER FEES FOR SENDING MONEY AND RECEIVING IT IN OUR LOCAL BANK.

+

PAYABLE TO

Beneficiary Name	学校法人 愛知大学(AICHI UNIVERSITY)
Beneficiary Bank	MUFG BANK, LTD.
Branch Name	NAGOYAEKIMAE BRANCH
ADDRESS	3-28-12MEIEKI, NAKAMURA-KU, NAGOYA-SHI, AICHI, 4506404 JAPAN
Beneficiary Account Number	221-0169082
SWIFT CODE	BOTKJPJT

+

+

+

入学検定料返還申請書

愛知大学学長 殿

年 月 日

私は、入学検定料の返還を申請いたします。

1. 志願者情報

フリガナ				性別 (○をつける)	男 ・ 女
氏 名					
入試種別	該当するものにチェック (☑) してください。 ☐ 外国人留学生推薦入試 ☐ 外国人留学生一般入試 ☐ 外国人留学生渡日前入試				
生年月日	西暦	年	月	日	出身高等学校 (出身日本語学校)
住 所	(〒)				
電話番号	〈自宅〉			〈携帯〉	

2. 返還請求事由

返還請求事由	該当するものにチェック (☑) してください。				
	☐ 入学検定料を納入したが、出願書類を提出しなかった場合 (書類不備や期限までに一部の書類を提出しなかった場合は対象となりません。)				
	☐ 受験資格を欠くものが出願した場合				
	☐ 出願締切後に出願した場合				
	☐ 納入すべき入学検定料より過剰に納入した場合				
	☐ 感染症に罹患した場合				

※海外の銀行口座に返還する場合の海外送金手数料は受験者負担となります。

3. 金額

請求金額	円
------	---

4. 入学検定料返還先

返還金 振込先	金融機関	銀行 信用金庫								本店 支店 出張先
	預金種別	普通 ・ 当座	口座番号							
	フリガナ								志願者との続柄	
	口座名義人									

注 1. 口座名義は、志願者本人または経費支弁者としてください。

2. 口座の通帳コピー等、別途口座情報が証明できる書類を添付してください。

【郵送先】

〒453-8777 愛知県名古屋市中村区平池町 4-60-6 愛知大学国際交流課 TEL : 052-564-6116

+

+

愛知大学に関する情報

各サイトへのQRコードからアクセスしてください。

愛知大学公式 HP



「知を愛し、世界へ。」を具現化する学部・学科・コース・専攻の特色やそこで学ぶ学生の声、学部別就職状況など、深い専門知識を基礎にして、筋道を立てて考え抜く力、境界を越えて人々とつながり、ともに問題を解決する力を育成する愛知大学の魅力を掲載しております。

愛知大学外国人留学生入学試験に関する情報

愛知大学外国人留学生入学試験に関する情報は、随時更新しています。

以下のQRコードからアクセスして情報収集してください。

愛知大学外国人留学生入学試験受験生向けサイト



2023 年度外国人留学生入学試験結果

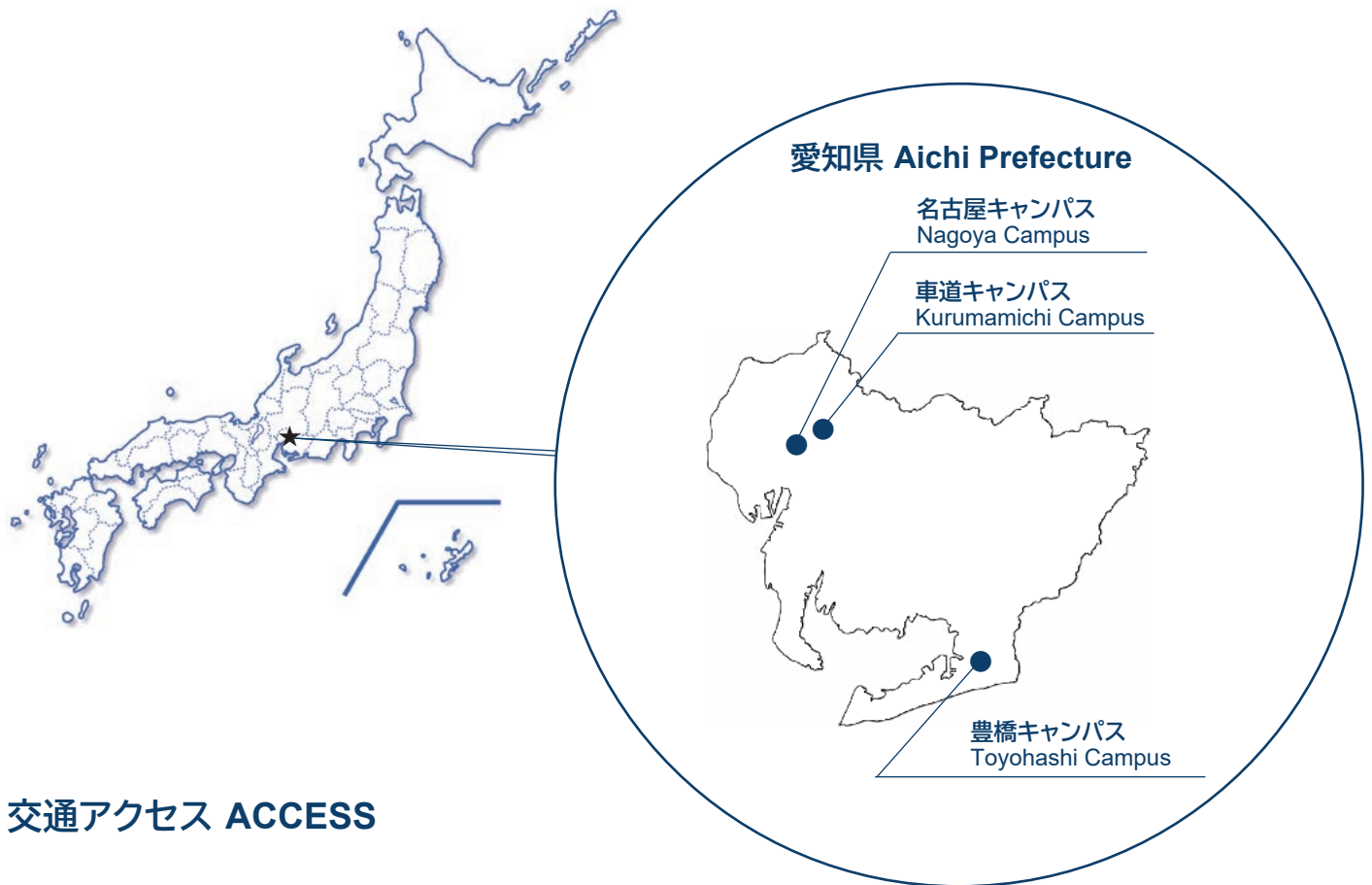
(※指定校制推薦入試は除く)

学部	学科	入試種別	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
法	法	一般	2	2	1	1
経済	経済	一般	7	4	3	3
経営	経営	一般	14	14	4	3
	会計ファイナンス	一般	0	0	0	0
現代中国	現代中国	推薦	4	4	3	3
		一般	7	6	6	6
		渡日前	4	4	4	2
国際コミュニケーション	英語	一般	0	0	0	0
	国際教養	一般	8	7	3	3
		渡日前	7	7	5	0
文	人文社会	一般	20	19	13	9
地域政策	地域政策	一般	5	5	1	0
短期大学部	ライフデザイン総合	一般	0	0	0	0
合計			78	72	43	30

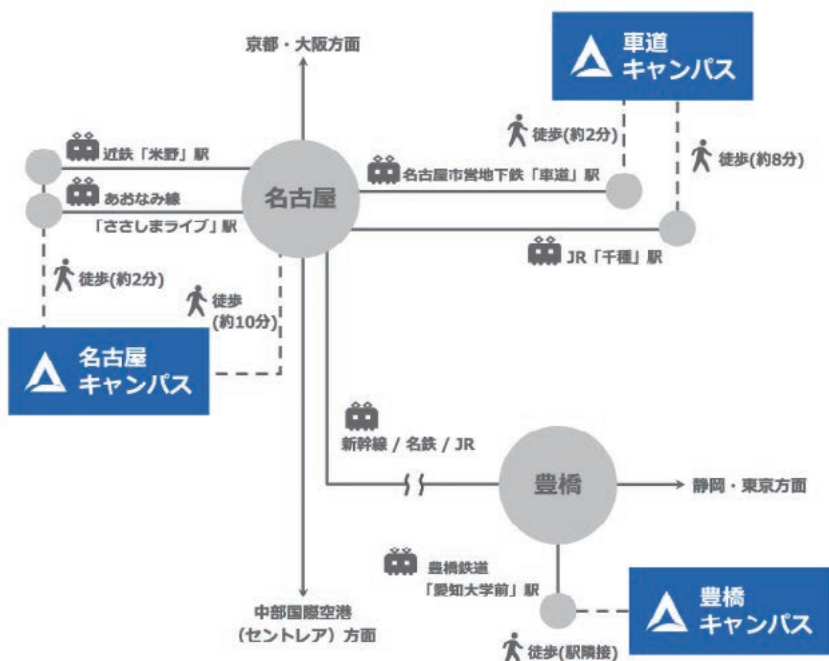
(注) 文学部は学部全体入試を実施します。本人の希望と1年次の成績により、2年次進級時に所属する学科・コース・専攻が決まります。(1年次の所属は、便宜上、人文社会学科となります)。

愛知大学・愛知大学短期大学部 案内図

Information Map to Aichi University and Junior College



交通アクセス ACCESS



名古屋キャンパス Nagoya Campus

名古屋駅より徒歩約 10 分
ささしまライブ駅より徒歩約 2 分

豊橋キャンパス Toyohashi Campus

名古屋駅より電車で約 60 分
豊橋鉄道渥美線「愛知大学前」駅隣接
(「新豊橋」駅より乗車時間 6 分)

車道キャンパス Kurumamichi Campus

名古屋駅より地下鉄約 8 分
「車道」駅下車 1 番出口徒歩すぐ



愛知大学国際交流課

名古屋キャンパス 〒453-8777 愛知県名古屋市中村区平池町四丁目 60 番 6
豊橋キャンパス 〒441-8522 愛知県豊橋市町畑町 1-1

Tel. 052-564-6116
Tel. 0532-47-4131

E-Mail. admission@ml.aichi-u.ac.jp

AICHI UNIVERSITY INTERNATIONAL EXCHANGE OFFICE

Nagoya Campus 4-60-6 Hiraike-cho, Nakamura-ku, Nagoya, Aichi 453-8777 Tel. +81-52-564-6116
Toyohashi Campus 1-1 Machihata-cho, Toyohashi, Aichi 441-8522 Tel. +81-532-47-4131